



か
ら
だ
ち
で
感
じ
る

伝統文化

足立区教育委員会では、日本の
伝統や文化を尊重する子どもたち
の心を育むため、さまざまな体験
活動に取り組んでいます。

和太鼓や獅子舞、狂言、能楽、
相撲、落語、将棋、百人一首：
・・・などなど、日本の伝統文化と
呼ばれるものは数多くあり、足立
区内でもさまざまな伝統文化が引
き継がれています。保育園や小
中学校でも、このような伝統文化を
子どもたちに感じてもらえるよう
地域の方々に協力いただきながら、
伝統文化体験を進めています。
2 ページでは、その活動の一部
を紹介します。

地域へ響く日本の伝統!!

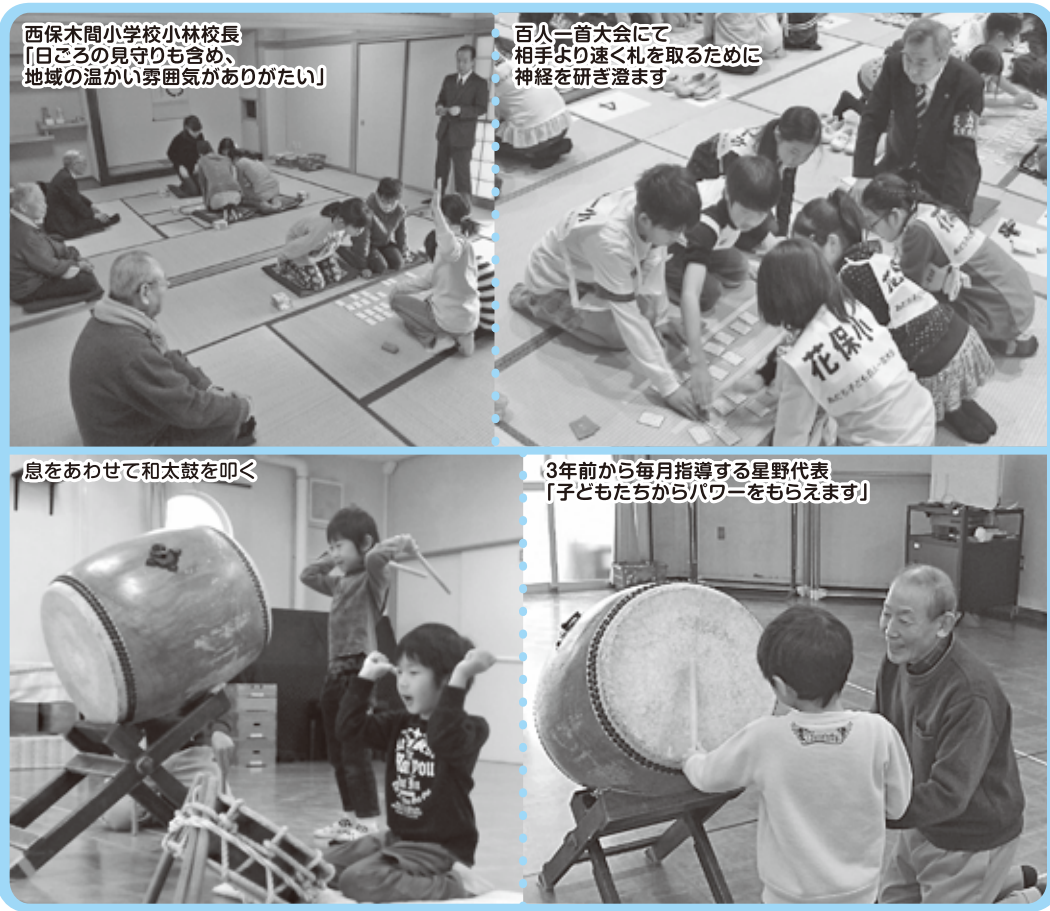
平成26年3月1日に行われた第5回「あだち子ども百人一首大会」。各小・中学校の子どもたちの真剣勝負が繰り広げられたその裏側には、それぞれの地域で協力してくれている大人の方の姿がありました。

過去の大会で優勝経験のある西保木間小学校では、1月から2月にかけて開かれた学校づくり協議会の土曜事業「百人一首教室」が行われました。

協議会委員の見守る中、「これから始めます」「よろしくお願ひします」と挨拶の後、20分間の個人練習を開始。最後の一人が取り終わるまで正座を崩しません。次に、大会ルールに従った対戦を70分間行います。

土田協議会会長は集中力を高めて練習に励む子どもたちの姿に微笑みつつ、「礼儀もこの教室の大切な狙い」と語るように、練習の終わりもきちんとした挨拶で締め括られます。

一方、梅田保育園では地域の盆踊りで活躍する「梅若太鼓」の星野代表の指導のもと和太鼓を体験しています。最初は小さい音しか鳴らせなかった子どもたちも、星野代表の「のびのびと自由に叩いてもらおう」



西保木間小学校小林校長
「日ごろの見守りも含め、地域の温かい雰囲気ありがたい」

百人一首大会にて
相手より速く札を取るために
神経を研ぎ澄ます

息をあわせて和太鼓を叩く

3年前から毎月指導する星野代表
「子どもたちからパワーをもらえます」

第5回「あだち子ども百人一首大会」結果

	小学生の部	中学生の部
源平戦優勝	測江小学校 伊澤千尋さん(6年) 岡本優有さん(6年) 山田明佳里さん(6年)	第十三中学校 牧田楓子さん(3年) 中村凜さん(2年) 前原紗菜さん(2年)
個人戦優勝	栗原小学校 菅原深菜美さん(3年)	竹の塚中学校 今村美憂さん(1年)
最優秀作品	栗原北小学校 小柴成喜さん(6年)	第十中学校 山口美咲さん(2年)

開催：3月1日(土) 島根小学校

ことを意識した指導により、楽しみながら自信を深め、大きな音を鳴らせるようになり、リズム感も養われました。相手と同時に音を出すために「よーっ」と元気な声を上げつつ、お互いを気にし合う様子からは、協調性の育ちも見て取れます。

「子どもが積極的にになったと保護者が喜んでいた」と話す山中園長は自己肯定感の芽生えが学習意欲の向上に繋がっているのを感じています。

今後も、地域の方々との絆を深めながら、体験を伴う学びを通して、子どもたちの学習意欲やコミュニケーション能力の向上にも取り組んでいきます。

足立区教育委員会

平成26年度 **学力向上** のための取り組み

足立区では、これまで「子どもたちがたくましく生き抜く力を育む」ための施策を重点課題に位置づけ、厳しい財政状況の中でも積極的に取り組んできました。特に基礎的・基本的な学力の定着に力を入れています。平成26年度も教育委員会や学校・保育園での学力向上のためのさまざまな取り組みに注目してください。

新しく取り組む事業

子どもたちの「わかった！」 という喜びのために

- **そだち指導員による学習指導**
授業中、学習に遅れが生じた児童に、そだち指導員が個別指導を行い、学習をフォローアップします
- **中1夏季勉強合宿**
数学のつまずきの早期解消のため、数学が苦手な中学1年生を対象に夏休み期間中に合宿を行い、少人数体制で指導します

*あだち教育だよりNo.57で取り上げた子ども元気基金事業の提案を継続します

先生の「わかりやすい授業」を 行うために

- **教員養成講座**
民間塾によるインターネット配信の研修プログラムを活用して、若手教員の授業力を高めます
- **教科指導専門員による教員支援**
中学生の国語・数学・英語3教科の学力定着に向けて、教科指導専門員が中学校専科教員の授業力アップを支援します

引き続き取り組む事業

- **5歳児プログラム**の実践や、読書・音楽活動などを通して就学前教育の充実
- **幼保小中連携**による就学・進学に向けたスムーズな接続
- **小・中学校へ副担任講師**を配置し、少人数指導による学校生活のサポート
- **多層指導モデル**による小学校低学年の異なる学力層に応じた指導
- **あだち小学生基礎学習教室**での補充学習
- **中学生補習講座**での補充学習
- **足立はばたき塾**による受験をめざした学習機会の提供



◆動き 教育委員会の活動

(平成25年11月から平成26年2月)
教育委員会には定例会4回及び臨時会1回の開催を通じて23件の議案が付議され、審議の結果すべて可決されました。

《主な議案》

*足立区における保育の実施等に関する条例の一部を改正する条例の進達について

*足立区立学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則

*足立区いじめ防止基本方針の策定について

◆会議の傍聴

会議は傍聴することができます。希望される方はお問合わせください。

教育委員の活動

11月

教育委員協議会(2回)

小・中学校周年行事記念式典出席

12月

教育委員協議会(2回)

小学校周年行事記念式典出席

足立区議会定例会出席(教育委員長)

1月

教育委員協議会(2回)

成人の日の集い出席

人権教育研究発表会出席

2月

開かれた学校づくり協議会会長意見交換会出席

足立区議会定例会出席(教育委員長)

足立区育英資金寄附金

中村 政信 様
足立明るい社会づくりの会 様
公益社団法人足立法人会 様
第十一町会自治会連合会、
青少年対策第十一地区委員会 様
匿名 3名

ありがとうございました

す ご あ だ い ね の ！ 子 ど も ち の ！ 子 ど も た ち Vol.11

スポーツに
文化に
大活躍!!

平成26年2月に足立区教育委員会児童・生徒褒賞式が行われました。区長褒賞と教育委員会褒賞を合わせて754人の子どもたちがスポーツ・文化活動の活躍をたたえられました。

さまざまな分野で全国を舞台に活躍する”あだちの子どもたち”。今後さらに実力を磨き、2020年には東京オリンピックで活躍する姿を見ることが出来るかもしれません。

※受賞者一覧を区ホームページに掲載しています。



第30回全国少年少女レスリング選手権大会

小学生の部 3年生33kg 準優勝

千寿常東小学校4年 もろ あやの 茂呂綾乃さん

格闘技経験者のお父さんの影響で茂呂さんは自然とレスリングに興味を持ち、5歳のころから競技を始めました。茂呂さんの努力は数々の全国大会優勝という形で実っています。

平成25年10月までは、アメリカでも大活躍した女子総合格闘技の藤井恵選手に指導を受けていました。

あこがれの藤井選手の引退試合終了後、茂呂さんは涙が止まりませんでした。すると、藤井選手が近づいてきて「綾乃が私をオリンピックに連れて行って」と声をかけてくれました。

「オリンピックで金メダルを獲りたい」と話す茂呂さんは、ハードな練習を重ね、藤井選手がくれた赤いリストバンドをつけて試合に臨み、夢への道を進んでいきます。



第17回

全国小中学校児童・生徒環境絵画コンクール

中学生の部

環境大臣賞 第十中学校3年
東京ガス特別賞 第十中学校3年

こじま みやこ
小島雅子さん
たかぎ まな
高木 愛さん



▶小島さん



▶高木さん



第十中学校美術部の小島さんと高木さんがダブル受賞を達成しました。受賞の知らせを受けたとき、二人は驚きと喜びを隠せなかったと言います。ともに全国規模の絵画コンクールにおいて、初めての受賞でした。小島さんは海、高木さんは陸の生き物との共存を通して環境保護の大切さを表現しました。

顧問の鋤形先生は「小島さんはダイナミック、高木さんは緻密」だと二人の絵の表現方法を語ります。描き方は異なりますが、表現力を磨くことへの向上心は尽きません。小島さんは「今回は2位相当の賞だったので、もっといい絵を描いて、全国で一番になりたい」、高木さんは「グラデーションの表現を上手にして、リアリティのある絵を描きたい」と目標を語ってくれました。

第22回全国小学生作文コンクール

「わたしのまちのおまわりさん」

高学年の部 内閣総理大臣賞

おおすか ななみ
第十四中学校1年 大須賀虹望さん

※受賞時は竹の塚小学校6年生



4千点を超える応募作品の中で内閣総理大臣賞を受賞したことに、大須賀さんは両親と一緒に驚き、喜びました。

作文では、大須賀さんが3歳のころ、コンビニの駐車場で車にひかれそうになったところを助けてくれたおまわりさんへの感謝の気持ちを伝えています。それ以来、おまわりさんが大須賀さんのヒーロー的存在になりました。「人に助けられることが多かった」と大須賀さんが言うように、小さいころに入院した病院でお母さんが恋しくなったときや、苦い薬を飲まなくてはいけないときに、お医者さんが励ましてくれました。病気を治してくれたお医者さんを魔法使いみたいだと感激しました。

大須賀さんはこれらの経験から、「私も人を助けたい」と思うようになり誰かの「ヒーロー」になれるよう人を助けることができる職業をめざしています。

悩みや心配を抱え込まないでください

小・中学校では スクールカウンセラー にお任せ！

秘密は
守ります！



なるせ まみに
スクールカウンセラー・鳴瀬真巳子さん

日ごろから授業を見学して、子どもたちの様子を見守るようにしています。休み時間には、子どもたちが相談に来ることもありますし相談ポストに手紙を入れてくれた子には、こちらから声をかけるようにしています。保護者のご相談もお受けしていますのでどうぞお気軽に声をかけてください。

「子育てのことで専門家の意見も聞きたいけど、どこに行けばいいのかわからない」と困っている保護者や、「誰に話せばいいんだろう？」と悩んでいる子どものために、足立区では、すべての区立小・中学校にスクールカウンセラーを派遣して健やかな成長を支援しています。

子育てや教育、進路、友人関係などで悩んだら、スクールカウンセラーに相談してください。スクールカウンセラーの来校日や相談の申し込み方法は、各学校からの学校だよりやスクールカウンセラーだよりなどで確認してください。必要に応じて、区の専門機関などの情報も提供いたします。



子どもの相談は “げんき”へどうぞ

「子どもが泣きやまない」、「好き嫌いが多くて・・・」など子育ての心配は尽きないものです。身近な人に相談しにくいときは、こども支援センター「げんき」では、心理や福祉などの専門職員に電話や面接で相談できます。初めての方は、まず電話で相談してください。

また、不登校や落ち着かない、勉強についていけないなどの教育相談もできます。土曜日も受け付けていますので、どうぞご利用ください。



◀必要に応じて専門職員が「トレーニング」で子どもの様子を見て助言することもあります。

こども支援センター「げんき」

子育てや教育の相談など、
まずはお電話を

こども総合
相談担当 **3852-3535**

月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分
(年末年始および日曜、祝日を除く)

虐待かなと思ったら

子どもの泣き声がしょっちゅう聞こえる、夜間子どもだけで家にいるなど気になる家庭がある場合は、要保護児童支援担当にご連絡ください。

要保護児童
支援担当 **3852-2876**

月～土曜日 午前8時30分～午後5時15分
(年末年始および日曜、祝日を除く)

いじめを許さない！

足立区は区内中学校に在籍する3年生生徒が平成22年10月に自死した事件について、いじめとの因果関係を明らかにするために「足立区いじめに関する調査委員会」を設置しました。区では、この委員会の調査結果である答申およびいじめ防止に向けた提言を重く受け止めるとともに、国の「いじめ防止対策推進法」公布を受け、このたび「足立区いじめ防止基本方針」を策定しました。各学校では「学校いじめ防止基本方針」を定め、いじめ問題の予防と解決に全力を挙げて取り組むこととしました。

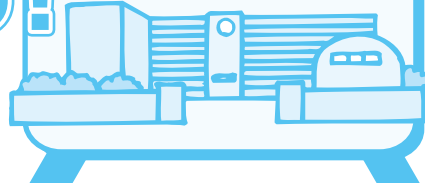
いじめは「どの学校」「どの学級」「どの児童生徒」にも起こりうることを強く意識して、「いじめは人間として絶対許されない」「いじめを受けている子どもを徹底して守り抜く」という強い姿勢で、いじめ問題に対処していきます。

また、いじめ防止は、個々の取り組みに加えて、保護者・地域の皆さんと学校教育委員会が協力し合っていくことが大切です。

保護者の皆さんも子どもの話を傾け、気になることがありましたら、学校や区の相談窓口にぜひ相談してください。

みんなで守ろう！

学校
いじめ防止対策委員会



- 「いじめ問題」や「生命尊重」の授業による心の教育
- 「いじめ防止月間（11月）」における啓発活動
- 「授業規律の徹底」など、学習環境の整備
- 「いじめ相談箱」など、相談窓口の常設
- 保護者・地域対象の「いじめ防止教室」の実施

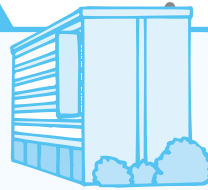
地域



保護者



足立区



足立区いじめ調査委員会
足立区いじめ問題対策連絡協議会
足立区いじめ問題対策委員会

- 「いじめ防止研修会」など、さまざまな研修会の開催
- 使いやすいアンケート調査への改善
- スクールカウンセラーの増員による相談体制の充実
- いじめ相談ネット受付窓口の設置

気になることはありませんか？ いじめ早期発見のためのチェックポイント

家庭や地域での表情・態度

- ぼんやりしていることが多い
- 視線をそらし、合わそうとしない
- わざとらしくはしゃいでいる
- 表情がさえず、元気がない
- 感情の起伏が激しい
- いつも一人ぼっちである

身体・服装

- けがの原因をあいまいにする
- 登校時に、体の不調を訴える
- シャツやズボンが汚れたり、破けたりしている
- 服に靴の跡が付いている

その他

- 他の子供から、言葉かけを全くされていない
- 家から金品を持ち出す
- 付き合う友達が急に変わる
- 不安げに携帯電話をいじっている

東京都教育委員会人権教育プログラム（学校教育編）より一部抜粋

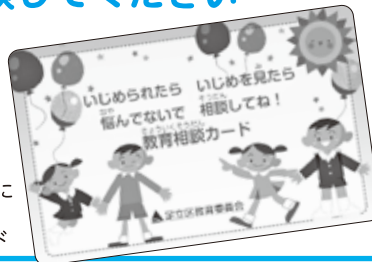
大人も子どもも気軽に相談してください

- ① 教育相談カード
- ② いじめ相談ネット受付窓口



▲②の二次元バーコード

▶全児童・生徒に配付している教育相談カード



電話で相談してください

- 足立区子ども支援センターげんき (3852) 3535
月～土 午前8時30分～午後5時15分
- 足立区いじめ110番 (3880) 5577
月～金 午前8時30分～午後5時
- 東京都いじめ相談ホットライン (5331) 8288
24時間受付

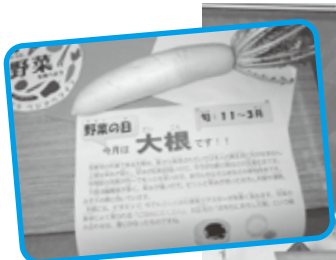
あなたのひみつはまもります

「野菜の日」はじめました!

野菜のレシピ
お届けします



学校給食では平成26年2月から毎月1回、旬の野菜を使った「野菜の日」給食をスタートしました。月1回のおいしい給食検討会で小学校は8グループ、中学校は4グループごとに栄養士たちが工夫を凝らしてメニューを考えます。当日の献立の家庭版レシピを、給食だよりなどで保護者の皆さんへお届けします。子どもたちも作ってみたいくなるような簡単なレシピを予定していますので、ぜひ子どもと一緒に野菜料理に挑戦してみてください。大好きな野菜をどんどん増やして、家庭でもいっぱい野菜を食べましょう。



▲栄養士による野菜の説明



▲おいしく野菜をたくさん食べる子どもたち



健康寿命をのばそう

ねえ、知ってる? 足立区民が健康でいられる年齢は、東京都の平均より2歳くらい短いんだよ。若くても糖尿病にかかる人が多いんだって。かかったばかりは気づきにくいし、悪くなると、目が見えなくなったり、腎透析を受けることになったりするみたい。糖尿病って怖いね。

糖尿病にかからないようにするためには、野菜をたくさん食べることが大事だよ。足立区民が1日で食べる野菜の平均は266g。国がすすめる350gには、80g以上足りないんだ。野菜を最初に食べるのも、いいみたい。だから足立区は「あだちベジタライフ～そうだ野菜を食べよう～」が始まったんだよ。お菓子ばかり食べないで、野菜もいっぱい食べようね。



給食の食材について

食品中の放射性物質については、現在、各都道府県で農産物や水産物を出荷段階で検査し、基準値を超えた場合、出荷制限する体制が確立されています。

足立区の給食は、これらの情報に基づき食材を選んでいきます。

なお、放射性物質検査の結果については、下記のホームページなどから確認することができます。

- 公益財団法人 東京都学校給食会「取扱物資の放射性物質検査について」
 - 東京都産業労働局「都内産農林水産物の放射性物質検査の結果について」
- ※各都道府県の農林水産物の放射性物質検査結果は、都道府県のホームページなどから確認することができます。